

ぼうさい 防犯チェックシート(家庭編)



さいがいじ いのち まも ひごろ ほうさい かんしん も ひつよう たいさく こう
災害時に「命を守る」ため、日頃から防災に関心を持ち、必要な対策を講じましょう。

こんかい ひ へいせい ねん がつ にち
今回チェックした日 平成 年 月 日

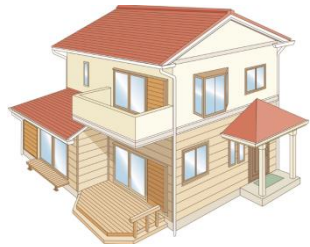


じかい ひ へいせい ねん がつ にち
次回チェックする日 平成 年 月 日(※)

※ 加古川市ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

たてもの そと たいさく 建物の外の対策

- たてもの たいしんしんだん おこな しょうわ ねん がつ にち いぜん た
建物の耐震診断を行った。(昭和56年5月31日以前に建てたもの)
- やね てんけん ほしゅう
屋根の点検・補修をしている。
- へい がいけき てんけん ほしゅう
ブロック塀や外壁の点検・補修をしている。
- まどわく あまど
窓枠や雨戸にがたつきはない。
- かんばん
看板にぐらつきはない。
- あま てんけん
雨どいの点検をしている。
- うえ きばち らっ かぶつ お
植木鉢などの落下物は置いていない。
- あんすいき こてい
アンテナや温水器はしっかり固定している。
- とうゆ てんとうぼうし
プロパンガスや灯油タンクは転倒防止をしている。
- も ぼうしよう
ガス漏れ防止用のマイコンメーターがついている。
- そっこう はいすいこう そうじ みず
側溝や排水溝は掃除をして水はけをよくしている。



たひつよう けんとう か
その他必要になることを検討し、書き込みましょう。

たてもの なか たいさく 建物の中の対策

- かく かでん あんぜん いち はいち
家具や家電は安全な位置に配置している。
- かく かでん てんとう しょうめいきく らっか ぼうし そち
家具や家電の転倒や照明器具の落下を防止する措置をとっている。
- しゅうのう かく おも した
収納家具では重いものを下にしている。
- つうろ てい ぐち もの お
通路や出入り口に物は置いていない。
- まど ひさんぼうし
窓ガラスに飛散防止フィルムをはっている。
- かいちゅうでんとう みちか
スリッパや懐中電灯は身近にしている。
- しょうか き ようい
消火器を用意している。
- てんき きき せきゆ あんぜんそうち かくにん
電気機器や石油ストーブなどにどのような安全装置がついているか確認している。
- ひさいちよくご いのち まも ばしょ つくえ したとう どう かくほ
被災直後に命を守るための場所(机の下等)やもの(すきん等)を確保している。



たひつよう けんとう か き
その他必要になることを検討し、書き込みましょう。

ぼうさい
防災チェックシート（家庭編）

「非常持ち出し品」として備えるものの中から、携帯が
できそうなものは、いつも使うバックやポケットに入れ
て、身につけましょう。
いつでも被災するかわからない災いへの安心感を持ち
歩きましょう。

1次の備え《非常持ち出し品》

被災の1日、命が安全なところに逃げるときにこれだけは持っていたいという最低限の備えをしましょう。

- 飲料水 ※1
- 非常食 ※2
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 携帯電話
- 電池・携帯電話の予備のバッテリー
- ヘルメット/防災ずきん
- 救急医薬品
- 常備薬・持病薬
- 生理用品
- お薬手帳
- タオル
- 貴重品
- 上着・下着
- ホイッスル
- 靴
- 筆記用具
- マスク
- カイ
- ティッシュ・トイレットペーパー
- ヘルプカード
- 現金（小銭）【公衆電話の利用等に備えます。】

※1 備える量は、1人1.5ℓが目安です。（いつも持ち歩く量は、500mℓが目安です。）

※2 アレルギーや障害特性などを考えて、各人に合ったものを備えましょう。

その他必要になるものを検討し、書き込みましょう。

- | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |



2次の備え《安心ストック》

災害直後から混乱が収まるまでに必要なものです。
最低3日分、できれば1週間分の備蓄をしておきましょう。

被災時、ライフラインが途絶え、もしも助けの手が届かなかったとしても、何日間かは自給自足してしのげる物品を備蓄しましょう。

- 飲料水 ※1
- 食品 ※2
- 毛布・タオルケット
- 石炭
- 燃料
- 歯ブラシ
- やかん・なべ
- 割箸・紙皿・紙コップ
- ラップ
- ティッシュ・トイレットペーパー
- 使い捨てカイロ
- ビニール袋
- 簡易トイレ
- ガムテープ
- ポリタンク
- カセットコンロ

※1 備える量は、1人1日2~3ℓが目安です。

※2 アレルギーや障害特性などを考えて、各人に合ったものを備えましょう。

その他必要になるものを検討し、書き込みましょう。

- | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |



れんらくしゅだん かくほ
連絡手段の確保

- 場面ごと(事業所にいるとき、学校にいるときなど)に連絡方法を決めている。
- 電話が使えない場合の連絡手段を確認している。
- 災害伝言ダイヤルの使い方を確認している。
- 連絡が取れない場合の集合場所を決めている。

じょうほう せいり
情報の整理

- 防災ネットかこがわなどに登録(kakogawa@bosai.net)へ空メールを送信し、避難勧告などの情報をすばやく入手できる環境を整えている。
- 地域住民や近隣施設などの協力者を確認している。
- 家族で防災に関する勉強を行っている。

か こがわ し そうごうぼうさい かつよう
加古川市総合防災マップの活用

- 加古川市総合防災マップで以下の項目を確認しましょう。
- 水害編
 - 水害についての知識を得た。(P.5~P.10)
 - 水害時の情報収集方法について確認した。(P.11~P.12)
 - 水害時に取るべき行動について確認した。(P.13~P.16)
 - 水害時の施設環境について確認した。(P.17~P.44)
- 地震編
 - 地震ハザードマップを確認した。(P.45~P.47)
 - 液状化ハザードマップを確認した。(P.49~P.50)
 - 津波ハザードマップを確認した。(P.51~P.52)
 - 地震時に取るべき行動について確認した。(P.53~P.54)
 - 地震時の情報収集方法について確認した。(P.55~P.56)
- その他
 - 日頃からの備えについて確認した。(P.57~P.59)
 - 各種情報源について確認した。(P.60)
 - 地域での助け合いの必要性を理解した。(P.61~P.62)
 - 近隣の避難所を確認した。(裏表紙)



その他

- 自宅の立地環境や予測される災害を確認している。(自宅の海拔は _____ m である。)
- 地域の防災訓練に参加している。(参加日: _____ 年 _____ 月 _____ 日)
- 避難場所(危険から逃れるための場所)や避難所(生活が困難になった際にしばらく生活する場所)を確認している。
- (避難場所 _____ 避難所 _____)
- 避難場所や避難所へ実際に移動してみたことがある。
- 避難場所や避難所へ複数の経路で実際に移動してみたことがある。
- 避難行動要支援者名簿に登録している。

